

平成 23 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 8 月 2 日

上場会社名 アサヒグループホールディングス株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2502 URL <http://www.asahigroup-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 泉谷 直木
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部門ゼネラルマネジャー (氏名) 森田 健 (TEL) 03(5608)5126
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 12 日 配当支払開始予定日 平成 23 年 9 月 1 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 12 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 12 月期第 2 四半期	651,661	△2.4	36,443	47.6	41,256	48.1	16,272	4.7
22 年 12 月期第 2 四半期	667,411	△0.4	24,692	15.0	27,864	0.1	15,544	△29.5

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 12 月期第 2 四半期	34.96	34.94
22 年 12 月期第 2 四半期	33.42	33.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 12 月期第 2 四半期	1,357,607	624,107	45.9	1,338.01
22 年 12 月期	1,405,358	612,670	43.6	1,315.51

(参考) 自己資本 23 年 12 月期第 2 四半期 622,813 百万円 22 年 12 月期 612,191 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 12 月期	—	10.50	—	12.50	23.00
23 年 12 月期	—	11.50	—	—	—
23 年 12 月期(予想)	—	—	—	11.50	23.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・ 無

3. 平成 23 年 12 月期の連結業績予想 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	1,459,000	△2.0	107,000	12.2	115,000	13.7	57,000	7.4	—	122.45

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

- ② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年12月期2Q	483,585,862株	22年12月期	483,585,862株
23年12月期2Q	18,108,289株	22年12月期	18,220,056株
23年12月期2Q	465,444,817株	22年12月期2Q	465,154,515株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

- ・ この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は平成23年7月1日に純粋持株会社制への移行に伴い、当社の100%子会社であるアサヒグループホールディングス株式会社に当社の酒類事業を承継いたしました。当社は同日付で「アサヒビール株式会社」から「アサヒグループホールディングス株式会社」に商号変更するとともに、その事業目的を純粋持株会社制移行後の事業に合わせて変更し、「アサヒグループホールディングス株式会社」は「アサヒビール株式会社」に商号変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象に関する注記	13
4. 追加情報	16
(1) 補足資料	16

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結結果計期間（平成23年1月1日～6月30日）におけるわが国経済は、海外経済の回復などにより一部に持ち直しの動きが見られたものの、3月に発生した東日本大震災の影響による企業の生産活動の低下や個人消費の停滞などにより、引き続き厳しい状況となりました。

酒類業界におきましては、マーケット全体の低迷や消費者の嗜好の多様化に加えて、東日本大震災の影響などにより、ビール類全体の課税移出数量は前年同期比3.5%減となりました。

このような状況の下、当第2四半期連結結果計期間の売上高は6,516億6千1百万円（前年同期比2.4%減）となりました。また、利益につきましては、営業利益は364億4千3百万円（前年同期比47.6%増）、経常利益は412億5千6百万円（前年同期比48.1%増）、四半期純利益は162億7千2百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

当四半期のセグメントごとの概況

(単位：百万円)

	売上高	前期増減	前年同期比	営業利益	前期増減	前年同期比
国内酒類	383,013	△20,974	△5.2%	31,882	7,616	31.4%
国内飲料	151,465	11,694	8.4%	4,820	3,118	183.3%
国内食品	47,633	2,048	4.5%	2,131	787	58.6%
国際酒類飲料等	41,044	△6,720	△14.1%	△2,421	942	—
その他	28,504	△1,797	△5.9%	149	△42	△21.9%
調整額	—	—	—	△119	△672	—
合計	651,661	△15,749	△2.4%	36,443	11,750	47.6%

(注) 第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しており、前第2四半期連結結果計期間の金額を同基準に準拠し算出して比較しております。

国内酒類事業

酒類事業につきましては、主力商品のブランド強化や、新たな需要喚起に向けた活動を徹底するとともに、経営環境の変化に左右されない収益基盤の強化に取り組みました。

(ビール・発泡酒・新ジャンル)

ビールについては、基幹ブランドである『アサヒスーパードライ』のブランド強化に注力し、シンガーソングライター・俳優として活躍している福山雅治氏を起用した広告展開を継続するとともに、2月に広告と連動したコラボレーションキャンペーンパックを発売するなど、ブランド価値の向上に向けた情報発信や販売促進活動を強化しました。

発泡酒については、『アサヒスタイルフリー』において、“うまい糖質ゼロ”※1という特長を訴求した各種販売促進活動を展開することなどにより、既存ユーザーの定着に向けた取組みを進めるとともに、新たなユーザーの獲得を図りました。

新ジャンルについては、主力ブランドである『クリアアサヒ』において、クオリティアップの実施や新たな広告を展開するなど、ブランド力の向上に取り組みました。また多様化するニーズに対応し、3月に“新ジャンルに麦100%”※2の『アサヒ一番麦』を新発売し、“糖質70%オフ”“プリン体80%オフ”※3の『アサヒオフ』を加えたラインアップにより、更なる存在感の向上に努めました。

以上のとおり取組みを進めたものの、東日本大震災が発生した3月中旬以降、生産・物流拠点の一部が被災した影響などによって、主力ブランドの商品供給を最優先とし、販売促進活動や新商品の発売を延期した結果、ビール類トータルの課税移出数量は前年同期比1.7%減となりました。

※1 栄養表示基準に基づき、糖質0.5g(100ml当たり)未満を“糖質ゼロ”としております。

※2 ホップ(0.5%未満)を除き、麦由来原料[麦芽・大麦・スピリッツ(大麦)]のみを使用していることから“麦100%”としております。

※3 発泡酒をベースとした当社「リキュール(発泡性)①」商品との比較になります。

(焼酎・低アルコール飲料・洋酒・ワイン)

焼酎においては、主力ブランドの『かのか』のブランド強化を図り、特に『芋焼酎 かのか黒麹仕込み』で積極的な販売促進活動に努めました。また、『本格芋焼酎 薩摩こく紫』の飲食店様向けのキャンペーンを実施するなど、取扱い店舗の拡大を図りました。

低アルコール飲料においては、主力ブランドの『アサヒ Slat(すらっと)』『アサヒカクテルパートナー』『アサヒチューハイ果実の瞬間』のブランド育成に取り組みました。また、昨年コンビニエンスストア限定で発売したヘビーユーザー向け商品『アサヒスパークス』の販路を全業態に広げるなど、新たな価値提案の拡大にも努めました。

洋酒においては、基幹ブランドの『ブラックニッカクリアブレンド』『竹鶴』のブランド強化・育成に取り組みました。特にハイボール人気が高まるなか、5月に缶入りの『ブラックニッカハイボール』を新発売し、さらに飲食店様向けには『ブラックニッカクリアブレンド樽詰めハイボール』の展開を進めました。

ワインにおいては、国産ワインでは5月に『リラ』を新発売し、新たにご家庭でワインを楽しんでいただけるシーンの提案をいたしました。輸入ワインではイタリアの『アンティノリ』やチリの『カリテラ』の低価格ワインを発売し、品揃えの充実を図りました。

しかしながら、東日本大震災による資材調達や物流網の回復の停滞、また、低アルコール飲料では製造・物流拠点の一部が被災し、主力商品の大半を販売休止したことなどにより、ビール類以外のカテゴリー合計の売上高は前年同期比4.7%減となりました。

以上の結果により、酒類事業の売上高は、前年同期比5.2%減の3,830億1千3百万円となりました。また、営業利益は、主に広告・販促費の抑制などにより、前年同期比31.4%増の318億8千2百万円となりました。

国内飲料事業

飲料事業につきましては、中核会社である「アサヒ飲料株式会社」が、主力ブランドである『ワnda』『三ツ矢』『アサヒ十六茶』を中心としたブランドの強化・育成を積極的に進め、成長基盤の磐石化に取り組みました。東日本大震災の影響などにより一部商品の発売中止や発売延期があったものの、2月にリニューアル発売した『アサヒ十六茶』に加えて、新商品の発売や積極的な広告販促活動を展開した『ワnda』が好調に推移し、また、昨年7月に発売した『アサヒ六甲のおいしい水』の上乗せ効果もあり、同社の売上数量は、前年同期比13.3%の増加となりました。

以上の結果、飲料事業の売上高は、前年同期比8.4%増の1,514億6千5百万円となりました。営業利益は、主に販売数量の増加により、前年同期比183.3%増の48億2千万円となりました。

国内食品事業

「アサヒフードアンドヘルスケア株式会社」については、指定医薬部外品『エビオス錠』やサプリメント『ディアナチュラ』などの主要商品に加え、ダイエットサポート食品『スリムアップスリム』や栄養調整食品『1本満足バー』なども好調に推移したことなどにより、売上高が前年同期より伸長しました。

また、「和光堂株式会社」については、主力のベビーフードのレトルトパウチ食品『グーグーキッチン』でアイテムの拡充を図ったことなどにより、前年同期の売上高を上回りました。

「天野実業株式会社」については、流通販売事業において、主力商品のフリーズドライ味噌汁や『にゅうめん』『小さめどんぶり』が引き続き好調に推移したことに加え、スーパー等での取扱店舗が大幅に増加したことにより、売上高を順調に拡大することができました。

以上の結果、食品事業の売上高は、東日本大震災の影響を受けたものの、グループ各社が主力商品のブランド強化に取り組んだことにより、前年同期比4.5%増の476億3千3百万円となりました。営業利益は、主に販売数量の増加や広告・販促費の抑制などにより、前年同期比58.6%増の21億3千1百万円となりました。

国際酒類飲料等事業

国際酒類事業につきましては、重点市場である中国において、「青島啤酒股份有限公司」とのパートナーシップの強化により、青島ブランドの受託製造量が増加したことに加え、アサヒブランドの販売数量も前年同期を上回るなど、順調に推移しました。また、アジア・オセアニア市場をはじめ中国以外の地域でも、現地のパートナーとの提携強化を図りました。これらに加え、『アサヒスーパードライ』においては、ブランド力強化に向けてさらなる品質向上などに取り組んでおり、特に、韓国、タイ、オーストラリア及び英国において販売数量が計画を上回るなど、海外市場における販売は好調に推移しました。

国際飲料事業につきましては、豪州において「SCHWEPPE'S AUSTRALIA PTY LIMITED」で主要商品を中心にブランド強化に向けた投資を積極的に行う一方で、販売体制の強化や生産面・物流面での効率化を図るなど収益基盤の強化を図りました。

以上の結果、中国やオーストラリアの売上高は堅調に推移しましたが、1月に売却しました韓国飲料事業の売上高が連結対象外となったことなどにより、国際事業全体の売上高は、前年同期比14.1%減の410億4千4百万円となりました。

営業損益は、中国ビール事業の収益性の向上と韓国飲料事業の売却に伴う収益改善などにより、前年同期に比べ9億4千2百万円改善し、24億2千1百万円の損失となりました。

その他事業

外食、卸等その他事業については、売上高は前年同期比5.9%減の285億4百万円となりました。一方、営業利益は前年同期比21.9%減の1億4千9百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて477億5千1百万円減少しました。これは、主に受取手形及び売掛金や有形固定資産が減少したことによるものです。なお、受取手形及び売掛金の減少は、最も大きい会計年度末に比べて減少する季節的な要因も含まれております。

負債は、前連結会計年度末に比べて591億8千8百万円減少しました。これは、主に支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少や、借入金等の返済による金融債務（短期借入金、1年内償還予定の社債、コマーシャル・ペーパー、社債、長期借入金の合計）の減少によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ114億3千6百万円増加しました。これは、主に豪ドルなどの為替変動に伴い為替換算調整勘定が増加したことや、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の43.6%から45.9%に増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結結果計期間末における現金及び現金同等物の残高は115億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億4千4百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは194億5千4百万円の収入となりました。前年同期との比較では、主に法人税等の支払額の増加などにより、206億5千6百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得などにより、101億8千2百万円の支出となりました。前年同期との比較では、前期に計上した営業譲受による支出がなくなったことや、投資有価証券の取得による支出が減少したことなどにより130億9千万円の支出減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、金融債務の返済や配当金の支払いなどを行い87億4千2百万円の支出となりました。前年同期との比較では、124億6千万円の支出減となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月8日に公表しました業績予想の修正を行っております。

	アサヒグループホールディングス(株)	
売上高	1,459,000百万円	(前年同期比 2.0%減)
営業利益	107,000百万円	(前年同期比 12.2%増)
経常利益	115,000百万円	(前年同期比 13.7%増)
当期純利益	57,000百万円	(前年同期比 7.4%増)

2. その他の情報**(1) 重要な子会社の異動の概要**

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要**① 簡便な会計処理**

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

・棚卸資産の評価方法

当社及び一部の連結子会社は、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要**① 「持分法に関する会計基準」および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用**

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）

および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

② 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）

及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益および経常利益はそれぞれ30百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は491百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,359	11,534
受取手形及び売掛金	230,941	274,379
商品及び製品	82,228	64,178
原材料及び貯蔵品	29,293	31,180
繰延税金資産	15,303	14,622
その他	37,208	30,842
貸倒引当金	△3,732	△5,685
流動資産合計	403,601	421,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	396,210	398,687
減価償却累計額	△229,837	△224,957
建物及び構築物（純額）	166,372	173,729
機械装置及び運搬具	493,095	489,228
減価償却累計額	△368,395	△357,706
機械装置及び運搬具（純額）	124,700	131,522
その他	143,974	141,789
減価償却累計額	△80,057	△79,224
その他（純額）	63,916	62,565
土地	175,990	182,569
建設仮勘定	4,359	6,714
有形固定資産合計	535,339	557,100
無形固定資産		
のれん	83,252	84,172
その他	35,628	37,640
無形固定資産合計	118,881	121,812
投資その他の資産		
投資有価証券	232,358	235,685
繰延税金資産	31,776	30,450
その他	41,154	45,156
貸倒引当金	△5,504	△5,900
投資その他の資産合計	299,784	305,392
固定資産合計	954,005	984,305
資産合計	1,357,607	1,405,358

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,756	102,948
短期借入金	57,304	69,259
1年内償還予定の社債	10,000	15,000
未払酒税	104,775	119,338
未払法人税等	7,871	32,493
預り金	19,706	19,609
コマーシャル・ペーパー	35,000	14,000
賞与引当金	2,976	2,817
その他	129,839	124,406
流動負債合計	454,230	499,874
固定負債		
社債	125,138	135,144
長期借入金	74,399	78,019
退職給付引当金	21,879	24,738
役員退職慰労引当金	324	597
資産除去債務	479	—
繰延税金負債	4,727	4,831
その他	52,319	49,481
固定負債合計	279,269	292,813
負債合計	733,500	792,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,531	182,531
資本剰余金	150,861	150,910
利益剰余金	305,341	295,228
自己株式	△28,544	△28,721
株主資本合計	610,189	599,948
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,863	198
繰延ヘッジ損益	—	693
為替換算調整勘定	14,487	11,351
評価・換算差額等合計	12,624	12,243
少数株主持分	1,293	478
純資産合計	624,107	612,670
負債純資産合計	1,357,607	1,405,358

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	667,411	651,661
売上原価	424,307	403,651
売上総利益	243,103	248,010
販売費及び一般管理費	218,410	211,567
営業利益	24,692	36,443
営業外収益		
受取利息	156	166
受取配当金	887	727
デリバティブ評価益	—	3,227
持分法による投資利益	5,090	3,727
その他	834	667
営業外収益合計	6,968	8,517
営業外費用		
支払利息	2,242	1,833
その他	1,554	1,870
営業外費用合計	3,797	3,704
経常利益	27,864	41,256
特別利益		
固定資産売却益	641	189
投資有価証券売却益	1,658	—
関係会社株式売却益	—	2,629
貸倒引当金戻入額	714	1,527
持分変動利益	726	—
その他	63	—
特別利益合計	3,803	4,347
特別損失		
固定資産除売却損	2,401	1,109
投資有価証券売却損	5	—
投資有価証券評価損	844	845
関係会社整理損	390	—
工場再編関連損失	—	721
震災関連費用	—	13,972
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	460
その他	1,219	1,850
特別損失合計	4,860	18,959
税金等調整前四半期純利益	26,807	26,644
法人税等	12,343	10,393
少数株主損益調整前四半期純利益	—	16,250
少数株主損失(△)	△1,080	△21
四半期純利益	15,544	16,272

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,807	26,644
減価償却費	29,672	29,582
のれん償却額	3,004	2,759
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,042	△1,596
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△914	△1,526
受取利息及び受取配当金	△1,044	△894
支払利息	2,242	1,833
持分法による投資損益(△は益)	△5,090	△3,727
投資有価証券評価損益(△は益)	844	845
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△2,629
固定資産除売却損益(△は益)	1,759	919
売上債権の増減額(△は増加)	33,118	40,867
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,267	△17,585
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,161	△13,948
未払酒税の増減額(△は減少)	△8,460	△14,562
その他	2,535	9,828
小計	61,086	56,806
利息及び配当金の受取額	5,757	4,488
利息の支払額	△2,054	△2,017
法人税等の支払額	△24,679	△39,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,111	19,454
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,330	△10,883
有形固定資産の売却による収入	843	3,900
無形固定資産の取得による支出	△2,054	△1,292
投資有価証券の取得による支出	△5,924	△788
投資有価証券の売却による収入	2,568	—
子会社株式の取得による支出	△41	—
営業譲受による支出	△5,339	—
貸付けによる支出	△826	△358
貸付金の回収による収入	1,511	476
その他	△1,680	△1,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,273	△10,182

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,302	19,088
リース債務の返済による支出	△1,284	△2,258
長期借入れによる収入	137	—
長期借入金の返済による支出	△22,318	△5,172
社債の発行による収入	20,000	—
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
自己株式の取得による支出	△11	△4
配当金の支払額	△5,115	△5,817
その他	86	421
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,203	△8,742
現金及び現金同等物に係る換算差額	△337	79
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,702	608
現金及び現金同等物の期首残高	18,082	10,813
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	135
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,381	11,557

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	酒類	飲料	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	409,000	181,385	45,584	31,441	667,411	—	667,411
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,235	967	899	24,930	34,031	(34,031)	—
計	416,235	182,352	46,483	56,371	701,442	(34,031)	667,411
営業費用	392,776	183,329	45,119	56,097	677,323	(34,605)	642,718
営業利益又は営業損失(△)	23,459	△976	1,363	273	24,119	573	24,692

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質により区分しております。

2. 各事業の主な製品 (1) 酒 類……………ビール、発泡酒、焼酎、ウイスキー他

(2) 飲 料……………清涼飲料他

(3) 食 品……………食品事業、薬品事業

(4) そ の 他……………不動産事業、外食事業、卸事業、物流事業他

3. 当第2四半期連結累計期間における営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額はありません。

4. 第1四半期連結会計期間より、従来の「食品・薬品」について「食品」へ名称を変更いたしました。

なお、当該変更は、名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営陣が経営資源の配分の決定等のために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内においては、主に酒類、飲料、食品の製造・販売を行っており、また、海外においては主に酒類、飲料の製造・販売を行っております。

したがって当社グループは「国内酒類」、「国内飲料」、「国内食品」、「国際酒類飲料等」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントと「その他」の区分に属する主な製品及びサービスの種類は以下のとおりです。

「国内酒類」…… ビール、発泡酒、焼酎、ウイスキー他酒類製品の製造・販売

「国内飲料」…… 清涼飲料他の製造・販売

「国内食品」…… 食品、薬品の製造・販売

「国際酒類飲料等」…… ビール他酒類製品、清涼飲料の製造・販売他

「その他」…… 外食事業、卸事業、物流事業他

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	国内酒類	国内飲料	国内食品	国際 酒類飲料等	その他	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	383,013	151,465	47,633	41,044	28,504	—	651,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,775	2,530	1,019	5	26,195	△47,526	—
計	400,789	153,995	48,652	41,049	54,700	△47,526	651,661
セグメント利益又は 損失(△)	31,882	4,820	2,131	△2,421	149	△119	36,443

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△119百万円には、主として、棚卸資産及び固定資産の未実現利益の調整額等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間における、重要な発生及び変動はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象に関する注記**(純粋持株会社制移行に伴う会社分割)**

当社は純粋持株会社制に移行するため、平成23年2月8日開催の当社取締役会において締結した、当社の100%子会社であるアサヒグループホールディングス株式会社(平成23年7月1日付で「アサヒビール株式会社」に商号変更。以下「承継会社」といいます。)との吸収分割契約に基づき、平成23年7月1日をもって当社の酒類事業を承継会社に承継いたしました(以下、この会社分割を「本件会社分割」といいます。)

本件会社分割後の当社は、平成23年7月1日付で「アサヒグループホールディングス株式会社」に商号変更するとともに、その事業目的を純粋持株会社制移行後の事業に合わせて変更しております。

1. 純粋持株会社制への移行の背景・目的

当社を取り巻く経営環境は、国内市場が成熟化するなか、競争のグローバル化や業界再編が進むなど大きな変革の時期を迎えております。今後も経営環境の変化は加速していくものと想定され、永続的な成長を実現するためには、これまで以上に変化に対応した機動的かつダイナミックな資源配分が必要となります。

また、当社は平成21年に「長期ビジョン2015」を設定し、その実現に向けて平成24年度を最終年度とする「中期経営計画2012」に取り組んでいます。このビジョンを達成するためには、各事業部門の権限と責任の明確化や専門性の追求により事業基盤の強化を図るとともに、企業価値向上を目指した国内外の事業ネットワークの拡大が急務であると考えております。

このような状況を踏まえ、当社は純粋持株会社制への移行により、グループのガバナンス機能を強化し、グループ全体としての「ものづくり力」の育成及びグループ共通業務の集約化や専門サービス機能向上による経営インフラの強化、さらには多種多様なお客様や事業に対応できる人材の育成に取り組めます。あわせて、国内外の成長領域への大胆な資源配分を可能とする体制に移行することで、スピードをあげてグループの飛躍的な成長を目指してまいります。

2. 会社分割の要旨**(1) 会社分割の効力発生日**

平成23年7月1日

(2) 本件会社分割の方式

当社を分割会社とし、当社の100%子会社であるアサヒグループホールディングス株式会社を承継会社とする物的吸収分割です。

(3) 本件会社分割に係る割当ての内容

本件会社分割に際し、承継会社は普通株式499,980株を発行し、その全てを当社に対して割当交付します。

(4) 分割会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社は新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりますが、その取扱いに変更はありません。

(5) 本件会社分割により減少する資本金等

当社の資本金に変更はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

本件会社分割により承継会社は、当社との間で締結した平成23年2月8日付の吸収分割契約に別段の定めがあるものを除き、効力発生日において当社が営む酒類事業のために有する資産及び権利、債務及び義務並びにこれらに付随する権利義務(契約上の地位を含む)を承継します。なお、承継会社が承継する債務については、当社による重疊的債務引受けの方法によるものとします。

(7) 債務履行の見込み

当社及び承継会社ともに、本件会社分割後も資産の額が負債の額を上回ることが見込まれること、及び本件会社分割後に負担する債務の履行に支障を及ぼす事態の発生は現在のところ予想されていないことから、本件会社分割後における当社及び承継会社の債務の履行の見込みにつきましては、問題ないと判断いたします。

(海外子会社の持分譲渡)

当社は、平成 23 年 8 月 2 日開催の取締役会において、当社の連結子会社である ASAHI BREWERIES ITOCHU (HOLDINGS) LTD. (以下、「A B I H」) が所有しておりました杭州西湖啤酒朝日(股份)有限公司(以下、「杭州ビール」)及び浙江西湖啤酒朝日有限公司(以下、「浙江ビール」)の全出資持分を、華潤雪花啤酒(中国)投資有限公司(以下、「華潤ビール」)に譲渡することに関し、同社との間で出資持分譲渡契約書を締結することを決議し、同日付でこれを締結いたしました。

1. 譲渡の理由

現在、当社の中国ビール事業においては青島ビールとの提携関係を軸に、既存ビール事業の生産性の向上とアサヒブランドの拡大を目指しており、杭州ビールについても青島ブランド製造受託による生産数量の拡大を目指しておりました。しかし、昨年 11 月に杭州ビールの中国側株主が保有する持分を売却することとなり、国有資産処分時の法定手続きである公開入札を実施した際に華潤ビールも入札に参加し、競売の結果同社が落札したことから、杭州ビールは当社子会社である A B I H と華潤ビールとの合弁体制となりました。

華潤ビールの持分取得以降、同社とは青島ビールも加えた 3 社での提携関係構築に向けて交渉を続けてきましたが、これ以上の交渉継続は杭州ビールの雇用維持に支障を与え、かつ株主が不安定な状況での企業経営継続は企業価値が減少すると判断し、今回 A B I H 出資持分を華潤ビールに売却することで提携関係を解消することと致しました。なお、杭州ビールの持分譲渡に際し、同社の製造子会社であります浙江ビールの A B I H 持分についても同時に華潤ビールへ持分譲渡を行います。

2. 売却する相手会社の名称

華潤雪花啤酒(中国)投資有限公司

3. 売却の時期

平成 23 年 8 月 2 日 取締役会決議、出資持分譲渡契約締結

平成 23 年 9 月末 持分譲渡

なお、本件譲渡については、関係当局の批准を得られることを前提としております。

4. 当該子会社等の名称、事業内容及び会社との取引内容

(1) 杭州ビール

(1)	名称	杭州西湖啤酒朝日(股份)有限公司
(2)	事業内容	ビールの製造販売
(3)	会社との取引内容	当社は当該会社より商品仕入し、当該会社に技術支援を行っております

(2) 浙江ビール

(1)	名称	浙江西湖啤酒朝日有限公司
(2)	事業内容	ビールの製造
(3)	会社との取引内容	なし [(参考) 杭州ビールが当該会社より商品仕入]

5. 売却する持分の額、売却価額、売却損益及び売却後の持分比率

(1)	売却する持分の額	杭州ビール：出資 151.8 百万元（所有割合：55.0%） 浙江ビール：出資 37.5 百万元（所有割合：25.0%）
(2)	売却価額	杭州ビール：270 百万元 浙江ビール：30 百万元 合計 300 百万元
(3)	売却損益	特別利益として関係会社株式売却益 20 億円計上の見込み
(4)	売却後の持分比率	0.0%

4. 追加情報
(1) 補足資料

2011年（H23年）第2四半期決算

補 足 資 料

アサヒグループホールディングス株式会社

2011年8月

財務ハイライト(2008年～2011年第2四半期)

【連結決算】

(億円)

	2008年第2Q (H20年)	2009年第2Q (H21年)	2010年第2Q (H22年)	2011年第2Q (H23年)	前年比・増減
売上高	6,661	6,702	6,674	6,517	△ 2.4%
(酒税額 ※連結合計)	(2,115)	(2,034)	(1,896)	(1,794)	(△5.4%)
売上原価	4,316	4,367	4,243	4,037	△ 4.9%
売上総利益	2,346	2,335	2,431	2,480	2.0%
販管費	2,039	2,120	2,184	2,116	△ 3.1%
(のれん等償却費)	(20)	(23)	(36)	(38)	4.1%
営業利益	307	215	247	364	47.6%
金融収支	△ 16	△ 10	△ 12	△ 9	-
その他収支	50	74	44	58	31.7%
経常利益	341	278	279	413	48.1%
特別利益	16	176	38	43	14.3%
特別損失	23	36	49	190	290.0%
税前利益	334	419	268	266	△ 0.6%
法人税等	154	187	123	104	△ 15.8%
少数株主損益	△ 9	11	△ 11	△ 0	-
当期純利益	189	221	155	163	4.7%
総資産	12,935	14,336	13,883	13,576	△ 307
自己資本	5,084	5,534	5,766	6,228	463
金融債務残高	3,390	4,307	3,756	3,018	△ 738
売上高営業利益率	4.6%	3.2%	3.7%	5.6%	1.9%
(酒税抜き営業利益率)	6.8%	4.6%	5.2%	7.7%	2.5%
ROE	3.7%	4.1%	2.7%	3.0%	0.3%
設備投資額	138	168	127	114	△ 12
減価償却費	235	279	275	261	△ 14

注)設備投資額及び減価償却費には、リース資産及び豪州子会社取得時、商標権は含めておりません。

【アサヒビール決算】

(億円)

	2008年第2Q (H20年)	2009年第2Q (H21年)	2010年第2Q (H22年)	2011年第2Q (H23年)	前年比・増減
売上高	4,550	4,433	4,207	4,001	△ 4.9%
(酒税額 ※単体合計)	(2,108)	(2,028)	(1,891)	(1,788)	(△5.5%)
売上原価	3,244	3,184	2,979	2,789	△ 6.4%
売上総利益	1,305	1,249	1,228	1,212	△ 1.3%
販管費	998	1,018	995	904	△ 9.1%
営業利益	307	231	233	308	32.2%
売上高営業利益率	6.7%	5.2%	5.5%	7.7%	2.2%
(酒税抜き営業利益率)	12.6%	9.6%	10.1%	13.9%	3.9%
金融債務残高	2,658	3,748	3,419	2,838	△ 580
設備投資額	91	67	60	28	△ 31
減価償却費	171	199	192	180	△ 12

注)設備投資額及び減価償却費には、リース資産及び豪州子会社取得時、商標権は含めておりません。

注)単体決算数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

連結決算(第2四半期)

※第2四半期決算までは、従来通りのセグメント区分としています。
(主要事業会社のみを各事業に区分・集計しています。)

1: 売上高(個別会社別)

(億円)

	2011年第2Q (H23年)	2010年第2Q (H22年)	前年比・増減	
アサヒビール	4,001	4,207	△ 205	△ 4.9%
酒類事業	4,001	4,207	△ 205	△ 4.9%
アサヒ飲料	1,459	1,327	131	9.9%
エルビー	93	106	△ 13	△ 12.4%
飲料事業	1,552	1,434	118	8.2%
アサヒフード&ヘルスケア	238	226	12	5.4%
和光堂	179	174	6	3.2%
天野実業	87	79	8	9.7%
食品事業	504	479	25	5.3%
シュウヱップス	339	314	25	8.0%
ヘテ飲料	-	102	△ 102	-
中国事業計	63	53	10	18.7%
その他	9	10	△ 0	△ 4.7%
国際事業	411	478	△ 67	△ 14.0%
その他	48	76	△ 29	△ 37.6%
(酒税額 ※連結合計)	(1,794)	(1,896)	(△ 103)	(△ 5.4%)
合計	6,517	6,674	△ 157	△ 2.4%

2: 営業利益(個別会社別)

(億円)

	2011年第2Q (H23年)	2010年第2Q (H22年)	前年比・増減	
アサヒビール	308	233	75	32.2%
酒類事業	308	233	75	32.2%
アサヒ飲料	59	28	31	110.3%
エルビー	3	2	0	18.9%
飲料事業	62	31	31	103.0%
アサヒフード&ヘルスケア	11	8	3	40.2%
和光堂	10	9	0	3.1%
天野実業	2	2	0	20.9%
食品事業	23	19	4	19.9%
シュウヱップス	3	8	△ 5	△ 66.2%
ヘテ飲料	-	△ 14	14	-
中国事業計	△ 5	△ 9	4	-
その他	△ 0	△ 0	0	-
国際事業	△ 2	△ 15	13	-
その他	△ 26	△ 21	△ 6	-
(内のれん等償却費)	(△ 38)	(△ 36)	(△ 1)	-
合計	364	247	118	47.6%

注)上記の事業別業績は、個別会社の積み上げであり、セグメント別利益とは異なります。

3: 利益増減要因

(億円)

	2011年第2Q (H23年)	2010年第2Q (H22年)	利益増減	備考
売上総利益	2,480	2,431	49	飲料91、へて△26、AB△16
販売費及び一般管理費	2,116	2,184	68	
販促費	1,006	1,039	33	
(販売奨励金等)	(786)	(744)	(△ 42)	飲料△66、AB9、へて7
(広告宣伝費)	(221)	(296)	(75)	AB55、飲料15、へて6
減価償却費	72	68	△ 3	
のれん償却費	25	28	2	
その他	1,012	1,049	36	賃借料17他
営業利益	364	247	118	
営業外損益	48	32	16	
金融収支	△ 9	△ 12	3	
その他収支	58	44	14	
(持分法投資損益)	(37)	(51)	(△ 14)	(内のれん等償却費17←18)
(その他)	(20)	(△ 7)	(27)	デリバティブ評価益32 他
経常利益	413	279	134	
特別損益	△ 146	△ 11	△ 136	
貸倒引当金戻入益	15	7	8	
関係会社株式売却益	26	-	26	
持分変動利益	-	7	△ 7	
固定資産売却除却損益	△ 9	△ 18	8	
投資有価証券評価損等	△ 8	8	△ 17	
震災関連費用	△ 140	-	△ 140	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	△ 5	-	△ 5	
工場再編関連損失	△ 7	-	△ 7	
関係会社関連費用	-	△ 4	4	
その他特別損益	△ 19	△ 12	△ 7	
税引前利益	266	268	△ 2	
法人税等	104	123	20	
少数株主損益	△ 0	△ 11	△ 11	
当期純利益	163	155	7	

注) AB : アサヒビール
飲料 : アサヒ飲料

4: 要約貸借対照表と増減事情

(億円)

	2011年第2Q (H23年)	2010年期末 (H22年)	増減	備考
流動資産	4,036	4,211	△ 175	
現金及び預金	124	115	8	
売上債権	2,309	2,744	△ 434	
棚卸資産	1,115	954	162	商品及び製品180、原材料及び貯蔵品△18
貸倒引当金	△ 37	△ 57	20	
その他	525	455	70	
固定資産	9,540	9,843	△ 303	
有形固定資産	5,353	5,571	△ 218	取得145、除売却△48、償却△260、ヘテ売却△71他
無形固定資産	1,189	1,218	△ 29	
投資有価証券	2,324	2,357	△ 33	
貸倒引当金	△ 55	△ 59	4	
その他資産	729	756	△ 27	
資産合計	13,576	14,054	△ 478	
流動負債	4,542	4,999	△ 456	
仕入債務	868	1,029	△ 162	
金融債務	1,023	983	40	
未払酒税	1,048	1,193	△ 146	
その他	1,604	1,793	△ 189	未払法人税等△246、未払費用51
固定負債	2,793	2,928	△ 135	
金融債務	1,995	2,132	△ 136	社債△100、長期借入金△36
その他負債	797	796	1	
負債合計	7,335	7,927	△ 592	
資本金	1,825	1,825	0	
資本剰余金	1,509	1,509	△ 0	
利益剰余金	3,053	2,952	101	
自己株式	△ 285	△ 287	2	
有価証券評価差額	△ 19	2	△ 21	
繰延ヘッジ損益	-	7	△ 7	
為替換算調整勘定	145	114	31	
少数株主持分	13	5	8	
純資産合計	6,241	6,127	114	
負債純資産合計	13,576	14,054	△ 478	

アサヒビール決算(第2四半期)

1: 売上の状況

(万箱)

	2011年第2Q (H23年)	2010年第2Q (H22年)	前年比・増減	
ビール	4,656	4,952	△ 296	△ 6.0%
発泡酒	788	885	△ 97	△ 10.9%
新ジャンル	1,731	1,687	44	2.6%
売上箱数	7,176	7,525	△ 349	△ 4.6%

(億円)

ビール	2,476	2,628	△ 152	△ 5.8%
発泡酒	303	340	△ 37	△ 10.8%
新ジャンル	573	558	15	2.6%
ビール・発泡酒・新ジャンル計	3,352	3,526	△ 174	△ 4.9%
焼酎	209	237	△ 29	△ 12.1%
低アルコール飲料	128	140	△ 12	△ 8.4%
洋酒	148	133	15	11.1%
ワイン	46	51	△ 5	△ 10.2%
その他酒類等	21	17	4	22.4%
総合酒類計	551	578	△ 27	△ 4.7%
受託製造	90	94	△ 4	△ 4.3%
不動産他	8	9	△ 0	△ 2.4%
(酒税額 ※単体合計)	(1,788)	(1,891)	(△ 104)	(△ 5.5%)
売上金額	4,001	4,207	△ 205	△ 4.9%

注) 売上箱数は輸出を除く国内売上箱数

2: 利益増減要因

(億円)

	2011年第2Q (H23年)	2010年第2Q (H22年)	利益増減	備考
<主な増減要因>				
ビール類数量増減(※)	-	-	△ 56	
総合酒類部門売上減	-	-	△ 9	
製造原価コストダウン	-	-	27	
物流関係コストダウン	-	-	2	
製造原価コストアップ	-	-	△ 6	
物流関係コストアップ	-	-	△ 1	
容器構成差	-	-	6	
販促費減	402	465	63	
(販売奨励金減)	(273)	(282)	(9)	
(広告費減)	(129)	(183)	(54)	
その他経費減	-	-	35	
(人件費減)	-	-	(9)	
(減価償却費減)	-	-	(12)	
(販売器具関係費減)	-	-	(1)	
(工場設備関係費減)	-	-	(3)	
(研究開発費減)	-	-	(0)	
(その他)	-	-	(10)	
その他経費増	-	-	△ 7	
製造休止期間固定費振替	-	-	21	
営業利益	308	233	75	

(※) ビール△50、発泡酒△12、新ジャンル 6

(注) アサヒビール決算数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

【参考資料】

アサヒ飲料(第2四半期)

<販売数量>

(万箱)

	2011年第2Q (H23年)	2010年第2Q (H22年)	前年比・増減		備考
炭酸飲料	1,935	1,962	△ 27	△ 1.4%	
果実飲料	597	538	58	10.8%	
コ－ヒ－飲料	1,912	1,792	120	6.7%	
お茶飲料	1,740	1,681	58	3.5%	
健康・機能性飲料	377	304	73	24.0%	
ミネラルウォーター	934	261	673	257.4%	六甲のおいしい水 628万函
その他飲料	41	27	14	51.6%	
仕入品	510	531	△ 21	△ 3.9%	
合計	8,046	7,097	949	13.4%	

<損益計算書>

(億円)

	2011年第2Q (H23年)	2010年第2Q (H22年)	前年比・増減		備考
炭酸飲料	345	349	△ 4	△ 1.0%	
果実飲料	101	89	12	13.7%	
コ－ヒ－飲料	412	387	25	6.4%	
お茶飲料	283	278	5	1.6%	
健康・機能性飲料	68	55	13	24.1%	
ミネラルウォーター	113	43	71	166.1%	
その他飲料	24	18	5	28.5%	
仕入品	113	109	5	4.2%	
売上高	1,459	1,327	131	9.9%	
販売数量増	-	-	30		
コストアップ	-	-	△ 9		原料△5億円、資材△3億円 他
コストダウン	-	-	21		PET内製化等 7億円、原料 8億円 他
品種・容器構成差他	-	-	6		
広告・販促費増	-	-	△ 6		広告費 16億円、販促費△22億円
その他経費増	-	-	△ 10		人件費増、製造固定費増 他
営業利益	59	28	31	110.3%	

－ 2011年(H23年)業績予想 －

＜新セグメント資料＞

2011年8月

2011年通期予想（連結）

※年間予想より、セグメントの内訳を変更しております（前年実績も新セグメント区分に変更）。
また、純粋持株会社化に伴い、ホールディングス社の費用は調整額に振り替えております。

(億円)

損益計算書	2011年予想 (H23年)	2010年実績 (H22年)	前年比		備考
酒類事業	9,474	9,892	△ 418	△ 4.2%	※内訳P25、詳細P26
飲料事業	3,241	3,122	118	3.8%	
食品事業	1,023	973	50	5.1%	
国際事業	893	977	△ 84	△ 8.6%	
その他事業	697	679	19	2.7%	
調整額(全社・消去)	△ 738	△ 749	11	-	
売上高	14,590	14,895	△ 305	△ 2.0%	
酒類事業	1,000	872	128	14.7%	のれん償却前営業利益 ※内訳P25、詳細P27
飲料事業	142	111	31	27.8%	
食品事業	51	46	4	9.0%	
国際事業	40	△ 12	52	-	
その他事業	8	11	△ 3	△ 28.3%	
調整額(全社・消去)	△ 95	2	△ 97	-	
のれん等償却費	△ 76	△ 77	2	-	
営業利益	1,070	953	117	12.2%	
営業外損益	80	58	22		(内のれん償却費35←37)
金融収支	△ 24	△ 26	3		
その他収支	104	84	19		
持分法投資損益	94	98	△ 4		
その他	9	△ 14	24		
経常利益	1,150	1,011	139	13.7%	
特別利益	△ 200	△ 87	△ 113		
貸倒引当金戻入益	5	2	3		
関係会社株式売却益	46	323	△ 277		
持分変動利益	-	7	△ 7		
固定資産売却除却損益	△ 42	△ 53	11		
投資有価証券評価損等	△ 13	△ 3	△ 10		
震災関連費用	△ 160	-	△ 160		
資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額	△ 5	-	△ 5		
工場再編関連損失	△ 7	△ 198	191		
関係会社関連費用	-	△ 13	13		
減損損失	-	△ 136	136		
その他特別損益	△ 24	△ 16	△ 8		
税引前利益	950	925	25	2.7%	
法人税等	375	409	34		
少数株主損益	5	△ 15	△ 20		
当期純利益	570	531	39	7.4%	

貸借対照表・その他	2011年予想 (H23年)	2010年実績 (H22年)	前年比		備考
総資産	14,130	14,054	76	0.5%	
自己資本	6,580	6,122	458	7.5%	
金融債務残高	2,950	3,114	△ 164	△ 5.3%	
D/Eレシオ	0.45	0.51	△ 0.06	△ 11.6%	
設備投資	350	278	72	25.8%	
減価償却費(※)	530	546	△ 16	△ 2.9%	

※リース資産及び豪州子会社取得時、商標権除く

参考指標	(のれん等償却後)			(のれん等償却前)		
	2011年予想 (H23年)	2010年実績 (H22年)	前年比	2011年予想 (H23年)	2010年実績 (H22年)	前年比
売上高 (酒税込み)	14,590	14,895	△ 305	-	-	-
(酒税抜き)	10,430	10,556	△ 127	-	-	-
営業利益	1,070	953	117	1,146	1,031	115
営業利益率 (酒税込み)	7.3%	6.4%	0.9%	7.9%	6.9%	0.9%
(酒税抜き)	10.3%	9.0%	1.2%	11.0%	9.8%	1.2%
EBITDA	-	-	-	1,805	1,712	92
EPS (円)	122.5	114.1	8.4	146.1	138.6	7.5
ROE	9.0%	9.0%	0.0%	10.7%	10.9%	△ 0.2%

※EBITDA=営業利益(のれん等償却前)+減価償却費+持分法投資損益(のれん償却前)

個社別業績予想

※年間予想より、セグメントの内訳を変更しております(前年実績も新セグメント区分に変更)。
また、純粋持株会社化に伴い、ホールディングス社の費用は調整額に振り替えております。

◆売上高

(億円)

	2011年予想 (H23年)	2010年実績 (H22年)	前年比		備考
アサヒビール	9,250	9,633	△ 383	△ 4.0%	
その他・事業内消去	224	260	△ 36	△ 13.8%	
酒類事業	9,474	9,892	△ 418	△ 4.2%	
アサヒ飲料	3,035	2,916	119	4.1%	
エルビー	230	237	△ 7	△ 2.9%	
その他・事業内消去	△ 24	△ 30	6	-	
飲料事業	3,241	3,122	118	3.8%	
アサヒフード&アントヘルスカア	500	471	29	6.1%	
和光堂	384	366	18	4.9%	
天野実業	176	167	9	5.1%	
その他・事業内消去	△ 37	△ 31	△ 5	-	
食品事業	1,023	973	50	5.1%	
シュウエップス	752	656	96	14.7%	
ヘテ飲料	-	192	△ 192	-	
中国事業計	124	112	13	11.5%	
その他・事業内消去	17	18	△ 1	△ 3.5%	
国際事業	893	977	△ 84	△ 8.6%	
その他事業	697	679	19	2.7%	
調整額(全社・消去)	△ 738	△ 749	11	-	
連結合計	14,590	14,895	△ 305	△ 2.0%	

◆営業利益

(億円)

	2011年予想 (H23年)	2010年実績 (H22年)	前年比		備考
アサヒビール	984	847	137	16.1%	ホールディング化による経費減少84億円→調整額へ
その他・事業内消去	16	25	△ 9	△ 35.6%	
酒類事業	1,000	872	128	14.7%	
アサヒ飲料	130	101	29	28.4%	
エルビー	12	9	3	29.7%	
その他・事業内消去	0	1	△ 1	-	
飲料事業	142	111	31	27.8%	
アサヒフード&アントヘルスカア	22	21	1	5.7%	
和光堂	22	21	1	4.6%	
天野実業	6	5	1	29.1%	
その他・事業内消去	1	△ 0	1	-	
食品事業	51	46	4	9.0%	
シュウエップス	44	38	7	17.3%	
ヘテ飲料	-	△ 28	28	-	
中国事業計	△ 3	△ 19	16	-	
その他・事業内消去	△ 1	△ 3	2	-	
国際事業	40	△ 12	52	-	
その他事業	8	11	△ 3	△ 28.3%	
調整額(全社・消去)	△ 95	2	△ 97	-	ホールディングス社のグループ管理費用を含む
のれん等償却費	△ 76	△ 77	2	-	
連結合計	1,070	953	117	12.2%	

※営業利益の調整額には、アサヒグループホールディングスの費用全般を含んでおります。

尚、アサヒグループホールディングス社の単体決算上では、別途主要子会社からのマネジメントフィーやブランド使用料等、収入が発生しますが、セグメント上の各事業の営業利益には当該マネジメントフィーやブランド使用料の費用支出を含めていません。

売上明細(酒類・飲料)

◆アサヒビール社

(万箱)

	2011年予想 (H23年)	2010年実績 (H22年)	前年比		備考
ビール	11,100	11,608	△ 508	△ 4.4%	
発泡酒	1,600	1,863	△ 263	△ 14.1%	
新ジャンル	4,000	3,644	356	9.8%	
売上数量合計	16,700	17,115	△ 415	△ 2.4%	

(億円)

ビール	5,946	6,204	△ 258	△ 4.2%	
発泡酒	615	715	△ 100	△ 14.0%	
新ジャンル	1,324	1,206	118	9.8%	
ビール類合計	7,885	8,125	△ 240	△ 3.0%	
焼酎	413	483	△ 70	△ 14.4%	
低アルコール飲料	286	312	△ 26	△ 8.4%	
洋酒	307	304	3	0.9%	
ワイン	102	115	△ 13	△ 11.7%	
その他酒類等	45	70	△ 25	△ 35.5%	ビールテイスト清涼飲料含む
総合酒類部門合計	1,153	1,284	△ 131	△ 10.2%	
その他・製造受託等	212	224	△ 12	△ 5.2%	
売上金額合計	9,250	9,633	△ 383	△ 4.0%	

◆アサヒ飲料社

(万箱)

	2011年予想 (H23年)	2010年実績 (H22年)	前年比		備考
炭酸飲料	4,325	4,323	2	0.0%	
果実飲料	1,195	1,172	23	2.0%	
コーヒー飲料	3,830	3,566	264	7.4%	
お茶飲料	3,640	3,561	79	2.2%	
健康・機能性飲料	740	832	△ 92	△ 11.0%	
ミネラルウォーター	1,875	1,125	750	66.7%	
その他飲料	120	105	15	14.0%	
仕入品	1,125	1,217	△ 92	△ 7.6%	
売上数量合計	16,850	15,901	949	6.0%	

(億円)

炭酸飲料	764	770	△ 6	△ 0.7%	
果実飲料	203	194	9	4.5%	
コーヒー飲料	825	769	56	7.3%	
お茶飲料	583	583	△ 0	△ 0.1%	
健康・機能性飲料	132	147	△ 15	△ 9.9%	
ミネラルウォーター	228	152	76	49.6%	
その他飲料	54	51	3	5.7%	
仕入品	246	249	△ 3	△ 1.4%	
売上金額合計	3,035	2,916	119	4.1%	

主な利益増減要因

※年間予想より、セグメントの内訳を変更しております(前年実績も新セグメント区分に変更)。
また、純粋持株会社化に伴い、ホールディングス社の費用は調整額に振り替えております。

(億円)

	2011年予想 (H23年)	2010年実績 (H22年)	利益増減	備考
ビール類数量増減	-	-	△ 70	ビール△87、発泡酒△33、新ジャンル 50
総合酒類部門売上減	-	-	△ 48	
容器構成差	-	-	10	
変動費コストダウン	-	-	42	原材料+33億円、作業料+3億円、運搬費+4億円 他
変動費コストアップ	-	-	△ 10	
広告・販促費減	890	972	82	販売奨励金減 32、広告費減 50
その他経費減	-	-	51	
(人件費減)	-	-	13	
(減価償却費減)	-	-	28	
(販売器具関係費増)	-	-	△ 3	
(工場設備関係費減)	-	-	2	
(研究開発費増)	-	-	△ 1	
(その他)	-	-	12	
その他経費増	-	-	△ 25	ホールディング化分割費用、退職給付費用増、他
製造休止期間固定費振替	-	-	21	
ホールディング化に伴う経費減少	-	-	84	ホールディング化による経費減少→調整額へ振替
アサヒビール	984	847	137	
その他・事業内消去	16	25	△ 9	
酒 類 事 業	1,000	872	128	
販売数量増	-	-	30	
品種・容器構成差他	-	-	11	
コストアップ	-	-	△ 24	原料△13億円、資材△10億円 他
コストダウン	-	-	33	PET内製化 9億円、原料 10億円 他
広告・販促費増	-	-	△ 2	広告費減 13億円、販促費増△15億円
その他経費増	-	-	△ 19	人件費、製造固定費、物流経費増 他
アサヒ飲料	130	101	29	
エルビー	12	9	3	
その他・事業内消去	0	1	△ 1	
飲 料 事 業	142	111	31	
アサヒフード&ヘルスケア	22	21	1	
和光堂	22	21	1	
天野実業	6	5	1	
その他・事業内消去	1	△ 0	1	
食 品 事 業	51	46	4	
シュウエップス	44	38	7	
ヘテ飲料	-	△ 28	28	2011(H23).1月 売却済み
中国事業計	△ 3	△ 19	16	
その他・事業内消去	△ 1	△ 3	2	
国 際 事 業	40	△ 12	52	
そ の 他	8	11	△ 3	
調 整 額 (全 社 ・ 消 去)	△ 95	2	△ 97	ホールディングス社のグループ管理費用を含む
のれん等償却費	△ 76	△ 77	2	
営 業 利 益	1,070	953	117	

※営業利益の調整額には、アサヒグループホールディングスの費用全般を含んでおります。

尚、アサヒグループホールディングス社の単体決算上では、別途主要子会社からのマネジメントフィーやブランド使用料等、収入が発生しますが、セグメント上の各事業の営業利益には当該マネジメントフィーやブランド使用料の費用支出を含めていません。

参 考 資 料

◆個別のれん等償却費

(億円)

	2011年予想 (H23年)	2010年実績 (H22年)	前年比	残存額 (10年末)	残存年	備考
酒類事業	-	0	△ 0	-	-	
アサヒ飲料	△ 20	△ 19	△ 1	324	17	
エルビー	△ 8	△ 9	1	38	5	
飲料事業	△ 28	△ 28	△ 0	-	-	
和光堂	△ 4	△ 12	7	70	16	
天野実業	1	1	0	△ 3	3	
その他	△ 0	△ 0	0	0	-	
食品事業	△ 3	△ 10	7	-	-	
のれん	△ 20	△ 19	△ 1	356	18	} 豪ドルベース ※為替変動の影響により変動
無形資産	△ 15	△ 11	△ 4	57	-	
商標権	△ 10	△ 10	0	176	18	
シュエップス(計)	△ 45	△ 39	△ 5	589	-	
その他	0	△ 0	0	-	-	
国際事業	△ 45	△ 39	△ 5	-	-	
連結合計	△ 76	△ 77	2	-	-	
<持分法適用会社>						
青島ビール	△ 26	△ 25	△ 0	486	19	
康師傅飲品	△ 9	△ 12	2	126	14	

◆為替レート

(円)

	2009年実績 (平均)	2010年実績 (平均)	2011年計画 (8/2発表)
人民元	13.7	13.0	12.5
韓国ウォン(KRW)	7.4	7.6	-
豪ドル	77.9	80.6	85.0
USドル	93.7	87.8	81.0
ポンド	146.6	135.5	132.0

※韓国ウォンは100ウォンあたり

新セグメント別情報

※年間予想より、セグメントの内訳を変更しております(前年実績も新セグメント区分に変更)。
また、純粋持株会社化に伴い、ホールディングス社の費用は調整額に振り替えております。

(億円)

2011年予想	酒類	飲料	食品	国際	その他	調整額	連結合計
売上高	9,474	3,241	1,023	893	697	△ 738	14,590
営業利益 (のれん等償却前)	1,000	142	51	40	8	△ 95	1,146
(のれん等償却後)	1,000	114	48	△ 4	8	△ 95	1,070
のれん等償却費	-	28	3	45	-	-	76
減価償却費 ※1	367	73	32	38	4	16	530
持分法投資損益 (のれん等償却前)	0	-	0	129	-	0	129
EBITDA ※2	1,367	215	83	207	12	△ 79	1,805
設備投資 ※1	125	98	66	47	2	12	350

※1 リース資産及び豪州子会社取得時、商標権除く

※2 EBITDA=営業利益(のれん等償却前)+減価償却費+持分法投資損益(のれん償却前)

(億円)

2010年実績	酒類	飲料	食品	国際	その他	調整額	連結合計
売上高	9,892	3,122	973	977	679	△ 749	14,895
営業利益 (のれん等償却前)	872	111	46	△ 12	11	2	1,031
(のれん等償却後)	872	83	36	△ 51	11	2	953
のれん等償却費	△ 0	28	10	39	-	-	77
減価償却費 ※1	405	65	26	48	3	0	546
持分法投資損益 (のれん等償却前)	0	-	-	134	-	1	135
EBITDA ※2	1,277	176	72	170	14	4	1,712
設備投資 ※1	133	34	65	42	3	1	278

(億円)

増減	酒類	飲料	食品	国際	その他	調整額	連結合計
売上高	△ 418	118	50	△ 84	19	11	△ 305
営業利益 (のれん等償却前)	128	31	4	52	△ 3	△ 98	115
(のれん等償却後)	127	31	12	47	△ 3	△ 98	117
のれん等償却費	0	0	△ 7	5	-	-	△ 2
減価償却費 ※1	△ 38	8	6	△ 10	1	16	△ 16
持分法投資損益 (のれん等償却前)	△ 0	-	0	△ 5	-	△ 1	△ 6
EBITDA ※2	90	39	11	37	△ 2	△ 83	92
設備投資 ※1	△ 8	64	1	5	△ 1	11	72

＜新セグメントの解説＞

※酒類事業には、アサヒビール社に加えて、酒類製造子会社、外食子会社、その他酒類事業に関連する機能支援子会社、ほかを含みます。

※飲料事業には、アサヒ飲料社、エルピー社に加えて、清涼飲料販売子会社を含みます。

※食品事業には、アサヒフードアンドヘルスケア社、和光堂社、天野実業社に加えて、その他食品事業に関連する子会社、ほかを含みます。

※国際事業には、シュウェップスオーストラリア社、中国ビール製造・販売子会社に加え、その他国際事業に関連する子会社を含みます。

また、持分法投資損益には、青島ビール社、康師傅飲品社、その他国際事業に関連する持分法適用関連会社が含まれます。

※その他事業には、物流事業子会社、ほかを含みます。

※調整額には、アサヒグループホールディングス社のグループ管理費用を含みます。

新旧セグメント比較

<旧セグメント(2010年末時点)>

区分	連結子会社
酒類事業	アサヒビール(株) ニッカウヰスキー(株) サントネージュワイン(株) さつま司酒造(株) アサヒビールモルト(株) アサヒドラフトマーケティング(株) 他1社
	杭州西湖啤酒朝日(股份)有限公司 浙江西湖啤酒朝日有限公司 煙台啤酒青島朝日有限公司 北京啤酒朝日有限公司 朝日啤酒(中国)投資有限公司 朝日啤酒(上海)産品服務有限公司 ASAHI BEER U.S.A.,INC.
飲料事業	アサヒ飲料(株) アサヒカルピスビバレッジ(株) アサヒオリオンカルピス飲料(株) 他1社 (株)エルビー (株)エルビー名古屋 (※)
	ASAHI HOLDINGS (AUSTRALIA) PTY LTD SCHWEPES AUSTRALIA PTY LINTED ヘテ飲料(株) (※)
食品事業	アサヒフードアンドヘルスケア(株) 和光堂(株) 他2社 天野実業(株) 日本エフディ(株)
その他	アサヒフードクリエイティブ(株) (株)うすけぼ アサヒビール園(株) (※) (株)マスタ (株)アサヒビールフィード (株)北海道ニッカサービス (株)仙台ニッカサービス (株)アサヒビールコミュニケーションズ アサヒフィールドマーケティング(株)
	BUCKINGHAMSHIRE GOLF CO.LTD 山東朝日緑源農業高新技術有限公司 山東朝日緑源乳業有限公司
	アサヒロジ(株) エービーカーゴ東日本(株) エービーカーゴ西日本(株)
	アサヒマネジメントサービス(株) 他3社

<新セグメント>

区分	連結子会社
酒類事業	アサヒビール(株) ニッカウヰスキー(株) サントネージュワイン(株) さつま司酒造(株) アサヒビールモルト(株) アサヒドラフトマーケティング(株) 他1社
	アサヒフードクリエイティブ(株) (株)うすけぼ アサヒビール園(株) (※) (株)マスタ (株)アサヒビールフィード (株)北海道ニッカサービス (株)仙台ニッカサービス (株)アサヒビールコミュニケーションズ アサヒフィールドマーケティング(株)
飲料事業	アサヒ飲料(株) アサヒカルピスビバレッジ(株) アサヒオリオンカルピス飲料(株) 他2社 (株)エルビー (株)エルビー名古屋 (※)
食品事業	アサヒフードアンドヘルスケア(株) 和光堂(株) 他2社 天野実業(株) 日本エフディ(株)
国際事業	杭州西湖啤酒朝日(股份)有限公司 浙江西湖啤酒朝日有限公司 煙台啤酒青島朝日有限公司 北京啤酒朝日有限公司 朝日啤酒(中国)投資有限公司 朝日啤酒(上海)産品服務有限公司 ASAHI BEER U.S.A.,INC. ASAHI HOLDINGS (AUSTRALIA) PTY LTD SCHWEPES AUSTRALIA PTY LINTED ヘテ飲料(株) (※) BUCKINGHAMSHIRE GOLF CO.LTD 山東朝日緑源農業高新技術有限公司 山東朝日緑源乳業有限公司
その他	アサヒロジ(株) エービーカーゴ東日本(株) エービーカーゴ西日本(株)
全社	アサヒグループホールディングス(株) アサヒマネジメントサービス(株) 他3社

- ・報告セグメントの利益は「営業利益」である為、上記の表からは持分法適用関連会社を除いております。
- ・旧セグメントは2010年度末時点の連結範囲における主要な会社を記載しております。
- ・(※):グループ内統合、売却などにより2011年1月以降、連結から除いております。